

## 取扱説明書

### TPS-P07S/TPS-P07SW

#### 高機能ポジショニングユニット “ULISSE”



Manual Version 1.0  
株式会社スリーディー  
2009年9月

#### 注意事項

- ご使用になる前に本マニュアルをよくお読み下さい。また、設置される際には、本マニュアルをお手元にご用意下さい。
- 本製品は、技術スタッフによる適正な設置をお願いしています。設置にあたっては、製品販売員か製造元にご依頼下さい。お客様によりカバーを開けられた場合には、無償保証期間内であっても保証いたしかねます。
- 本マニュアルに従って、機器の配線を行ってください。
- 配線用のケーブルには、使用済みのケーブルや古いケーブルを使用しないでください。安全な運用をお約束できません。
- 火の元の近くや、その危険のある場所でのご使用や保管は避けて下さい。
- お子さんや機器の使用に慣れていない人に使用させないで下さい。
- 設置の際は、本体はしっかりと固定してください。
- ケーブルの配線を変更する場合は、電源が切れていることを確認してから行ってください。
- アフターサービスは、弊社の専門スタッフが行います。
- 設置後はいつでも本マニュアルを参照できるよう大切に保管してください。

#### [更新履歴]

このマニュアルは3Dの製品であるTPS-P07S及びTPS-P07SW高機能ポジショニングユニット「ULISSE」の設置、設定についての内容です。製品特徴や注意事項を熟知し大切に保管して下さい。全ての設定は予告なく変更する場合があります。本書に記載されている内容については保障しますが、第三者の権利侵害に関していかなる責任も負いません。

#### お問合せ先

株式会社スリーディー 画像通信システム事業部

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1

TEL. 03-5431-5971(代)

FAX. 03-5431-5970

<https://www.3d-inc.co.jp/>

E-mail:info@3d-inc.co.jp

目次

1. はじめに.....4

2. コピーライト・著作権について.....4

3. 安全のために.....4

4. 製品の特徴.....6

    4-1 製品の特徴.....6

    4-2 製品マーク.....6

5. 設置の前に.....6

    5-1 設置前の安全確認.....6

    5-2 梱包物の確認.....6

    5-3 梱包材料.....7

    5-4 設置前の準備(ブラケットの取付).....7

6. 組込みと設置.....10

    6-1 ハウジング内への機器組込み.....10

    6-2 電源供給ベースのケーブル結線.....14

    6-3 トップ本体と電源供給ベースの固定.....17

    6-4 DIP スイッチ定義.....18

7. 電源を入れる.....23

8. OSM メニュー操作.....23






●製品外形図.....37

●製品仕様.....38

1. はじめに

本体を設置・使用する前に、本マニュアルをよく読んでください。  
また、設置後も、いつでも参照できるように大切に保管してください。


1-1 記号の意味

	危険:危険度 高 電気ショックの危険があります。電源を抜いてから作業を行ってください。
	危険:危険度 高 表面が熱くなっています。触らないでください。やけどの可能性あります。
	危険:危険度 高 機械を破壊する可能性があります。
	警告:危険度 中 システムの正常動作のために非常に大切作業です。記載事項をよく読んでから作業を実行してください。
	注意: 製品仕様に関する記述事項です。 次のステップをよりよく理解するために本記載事項を注意深く読んでください。


2. コピーライト・著作権について


本マニュアルに使用されている製品の名称や会社名は、登録商標です。

3. 安全のために

 本マニュアルに記載のない不適正な使用による損傷について、弊社は全ての責任を免除させていただきます。本マニュアルに記載している内容には万全を期していますが、弊社はお客様が本マニュアルの情報をういて行った一切の行為について、いかなる責任も負いません。

本高機能ポジショニングユニット「ULISSE」は、マニュアルが製作された時期に施工されている法律や規格に則っています。しかしながら、ユーザー(設置技術者及びオペレーター)の安全のためにも、次の警告に従い、安全に作業を行ってください。

 本デバイスを搬送する際には、細心の注意を払ってください。  
乱暴な扱いや落下、強い衝撃は製品を損傷し、ユーザーを傷つける可能性があります。

 本設備の給電には、3mmの対地電流保護回路を有する最大20A容量の磁気温度サーキットブレーカーを設けます。

- 本製品は、必ず、技術スタッフの方が適切に設置してください。
- 設置作業が終了する前に電源を入れないでください。
- 電源ケーブルには中古品や古いものを使用しないでください。
- 本マニュアルに記載のない変更や接続、動作保証外の条件下で使用しないでください。物的損害、けがの原因となる可能性があります。
- スペア部品はすべて正規品を使用してください。正規品以外のものでは、火災や放電やその他の危険を発生する可能性があります。
- 各部品材料は適合試験を通過したものですが、設置に際してはその適合を改めて確認してください。
- 電源仕様が AC24V の場合、±10%が許容値になります。
- 各機器は恒久的に設置できる構造設計が施されています。
- 機器の搭載は専門技能要員が行うようにします。それ以外の手による作業は可動構造を扱う観点から大変危険です。
- 燃えやすい物のそばで使用しないようにしてください。
- 子供や権限の無い方は触れないように留意してください。
- 故障の際は、専門技術者に要請してください。その際は、電源を停止して使用しないようにしてください。
- ケーブルグランドを取るようになっています。
- 機器は 3P ケーブルを使用するようになっています。
- 機器には工事の際、サービスの際に関わらず、無用な負荷や過重をかけないようにしてください。
- 停電時など停止した後、起動する際は周囲の状況をよく確認してから起動運転するようになっています。
- 電源を給電する際には、他の皮相ラインや漏電、雷などの影響を受けないようにセパレートラインを構成してください。
- 主電源盤を設けることで、メンテナンスなど様々な場面で円滑に行えます。
- お手元に届いた製品がご注文された製品仕様に間違いがないことを確認してください。仕様はラベルに記載されています。

#### 4. 製品の特徴

##### 4-1 特徴

本製品は、屋外対応高機能パンチルトユニットです。

高機能かつパーフェクトなポジショニングを求められる監視には最適な製品です。水平作動範囲は 360° エンドレスで回転し、速度は最大 1 秒 100° です。垂直動作範囲は-90° ~40°、速度は最大 1 秒 40° です。

本製品にはご要求に合ったカメラやレンズを搭載可能です。また、サーモスタットヒーターを内蔵しており、最適な温度環境での使用を保証します。

高機能ポジショニングユニット「ULISSE」は、港湾警備、都市警備、高速道路状況の監視、球場、工場、刑務所や軍施設等の監視に適しています。

##### 4-2 製品マーク

外箱の製品ラベルをご確認ください。

#### 5. 設置の前に

##### 5-1 設置前の安全確認



ハウジングを開ける前やメンテナンス前など作業前には、必ず電源コードを抜いてください。



電源を入れると、ユニットは初期駆動により自動で上下左右に動きます。電源を入れる際には、必ず十分なスペースを確保してください。また、配線や電源等の周辺機器が動作の妨げにならないように配置してください。

##### 5-2 梱包品の確認

製品到着後、損傷等を受けていないかよく確かめてください。

万一の場合には、発送元、もしくは運送会社にお問合せ下さい。

開封後、下記一式が入っているかどうかお確かめ下さい。

製品本体	1 台
付属品の箱	1 箱
・乾燥剤、取付板、ネジ 2 個、六角レンチ	1 袋
・六角レンチ 4mm	1 本
・RS232C シリアルケーブル	1 本
・RS232C シリアルアダプタ	1 個
・シリコンチューブ	1 式
・インシュロック	2 本
・ゴムブッシュ(ケーブルグランド用)	2 個

・マニュアル	1 式
本体電源供給ベース箱	1 箱
・電源供給ベース	1 式
・固定用ボルト及びネジ	1 袋



ハウジングからサンシェードを外す際には、ハウジングを傷つけないように気をつけてください。

### 5-3 梱包材料

梱包資材は、全てリサイクル可能です。廃棄の際には、地区のゴミの分別方法に従って、処分してください。

万が一、製品の不具合や修理等で返送が必要な場合は、オリジナルの梱包資材にてしっかり固定の上、ご返送いただくようお願いします。

### 5-4 設置前の準備

#### 5-4-1 サポート(ブラケット)の接続

ブラケットには、2 種類あります。設置場所に適したブラケットを選定ください。



本製品は、垂直状態で取り付けます。その他の状態で取り付けると、動作パフォーマンスを低下させる可能性があります。

本体を下向きに設置しないでください。



本体を取り付ける際・取外す際には、特別の注意を払ってください。表面がコンクリートの場所に設置する場合は、アンカーを使用してください。ねじ込みの際は、締付トルク 300dN 以上でしっかりと締め付けてください。

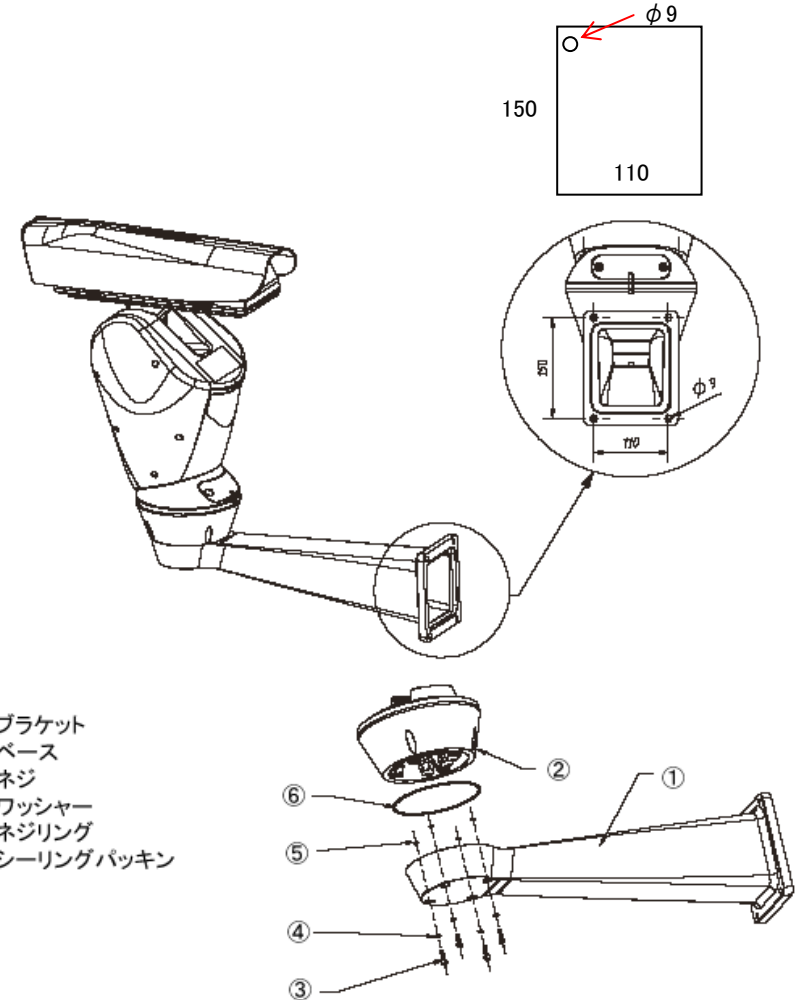
設置場所の表面が金属の場合は、直径 8mm の適正な長さのネジを使用してください。

#### 5-4-1-1 ブラケットの取り付け

ブラケットは、オプション品で、壁掛け用と据え置き設置用の2タイプがあります。

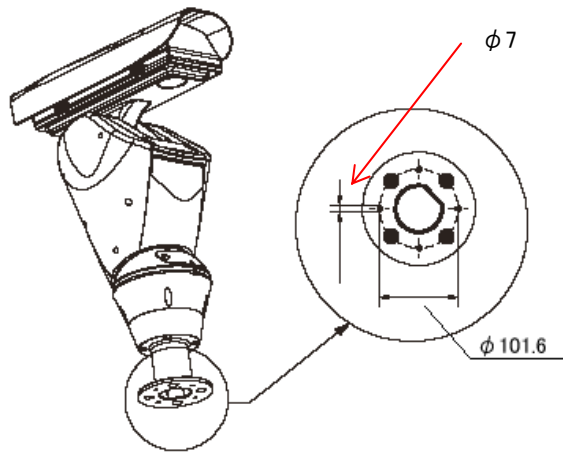
ブラケットの中にケーブルを通し、本体とブラケットをドリルでしっかりと留めてください。

#### 5-4-1-1 TPS-07WM 壁掛けブラケット(オプション)

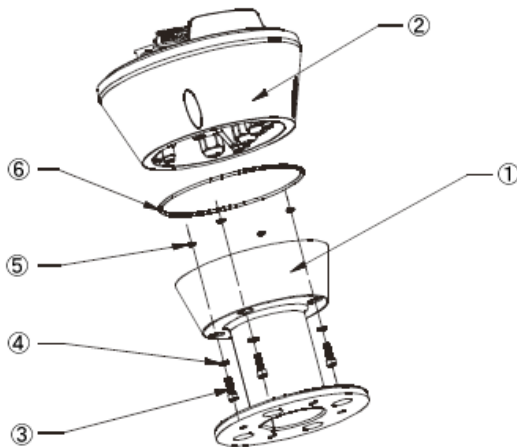


1. ブラケット
2. ベース
3. ネジ
4. ワッシャー
5. ネジリング
6. シーリングパッキン

5-4-1-2 TPS-07PM 据え置きブラケット(オプション)



1. パラペットマウントブラケット
2. ベース
3. ネジ
4. ワッシャー
5. ネジリング
6. シーリングパッキン



5-4-2 ケーブルマネージメント



いかなる理由であっても、マニュアルに記載のない配線をしないでください。マニュアル記載のとおり配線を実行しなかった場合、人を傷つけ、機器を損傷する可能性があります。



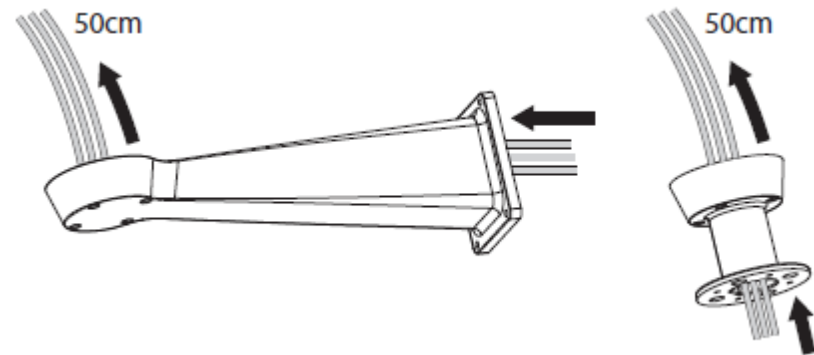
購入時の配線状態から、製品本体の配線を勝手に変えないでください。人を傷つけ、機器を損傷する可能性があります。また、購入から1年以内であっても、製品の保証は無効となります。

次の要領でケーブルを配線します。

必要となるケーブルは構成により、システム構成に合うケーブルをお使いください。アラーム等を使用しない最もシンプルな構成の場合は、次の3種です。

- ・ 電源線 (AC24V)
- ・ 同軸ケーブル (映像信号コンポジットビデオ)
- ・ ツイストペアケーブル (制御信号 RS485)

1. ケーブルをブラケットに通し、ブラケットから 50cm 程出してください。
2. ケーブルグランドにケーブルを通し、ブラケットから約 20cm のところでベースを維持し、トルクレンチ 5Nm でしっかりとケーブルグランドを締め付けてください。ケーブルグランドは、φ5~10mm のケーブル用です。



6. 組込みと設置



熟練の技術者のみがユニットへの配線を行ってください。今後のために、結線図を保管してください。

6-1 ハウジング内への機器の組込み

6-1-1 カメラと電動ズームレンズの組込み

カメラとレンズの組込みは、作業を行うユーザーに全ての責任があります。



製品が適正に設置され正しく動作する場合、カメラとレンズの動作保証は、-10°C~60°Cです。



パンチルトユニットは、極性のある電動ズームレンズの制御が可能です。しかし、コモンワイヤレンズには対応していません。

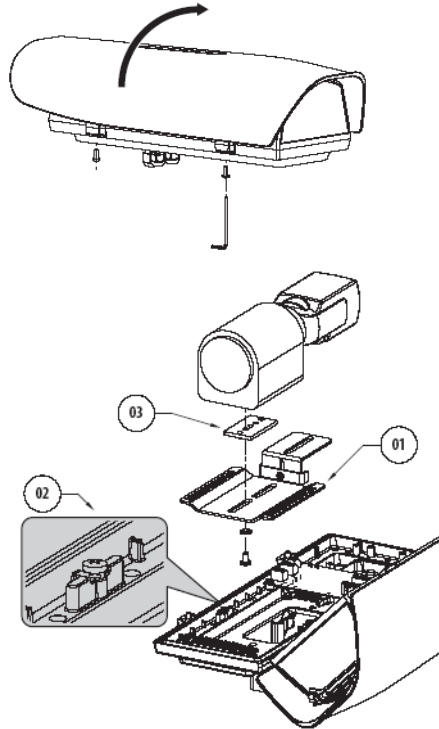


カメラから出力されるビデオ信号は、コンポジットビデオ 1.0V P-P でなければいけません。

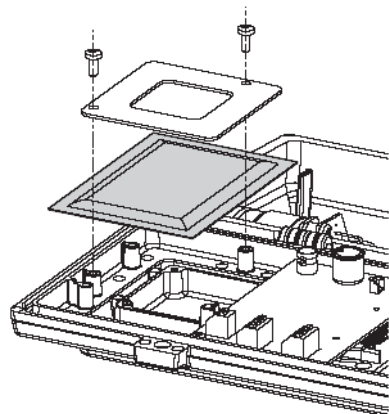
6-1-2 カメラの組み込み

6-1-2-1 カメラの取付け

サイドのネジを外し、上のカバーを完全に開けます。



留めているネジ(02)を緩め、サポートスライド板(01)を取外します。スライド板をロックしているネジと穴の位置が合うところまでスライドをずらしません。1/4"ネジでカメラを留めます。レンズとカメラの位置が合うようにスライド板を調整します。ネジでスライドを適正な位置で締めます。必要があれば付属のスペーサー(03)を使用してカメラの高さを合わせます。



スライド板を元通り配置し、緩めたネジを締めます。

必要があれば、乾燥剤を入れます。その際、付属の固定プレート当て、付属のネジで取り付けてください。

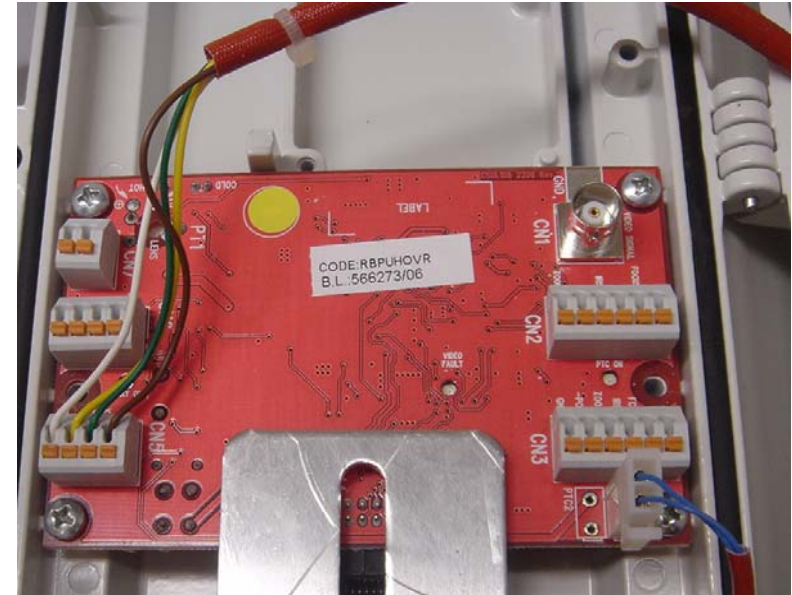
\*ハウジング内のケーブルを結線後、ハウジングを閉めます。



場合によっては、映像信号への干渉を防ぐため、カメラ本体をスライド板から絶縁させる必要があります。

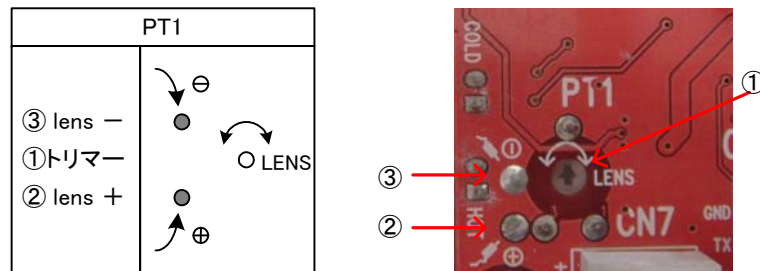
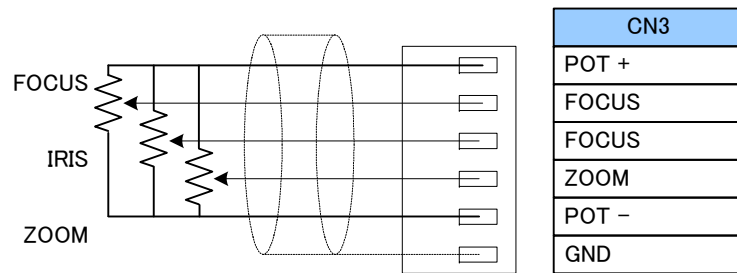
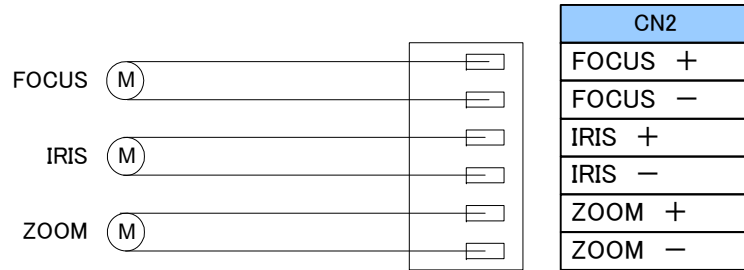
6-1-3 ハウジング内部基板へのケーブル接続

ハウジング内部の基板へのケーブル接続を行います。ケーブルは適正な長さに切り、結線します。

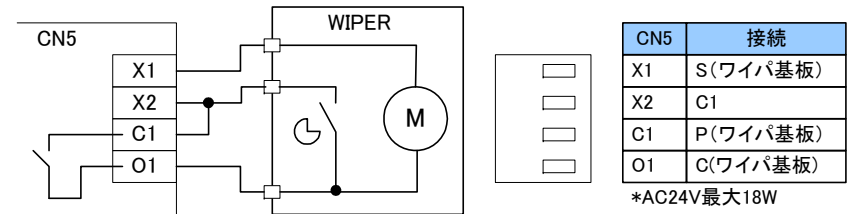


CODE	定義
PTC1	PTCヒーターへ
PTC2	-
PT1	レンズのモーター制御電圧調整ポテンションメータ
COLD	(使用しない)
HOT	(使用しない)
CN1	BNCコネクタ カメラからの映像信号
CN2	電動ズームレンズへの制御信号
CN3	※装着するレンズタイプにより、CN2/CN3を選択
CN5	ワイパーへの電源供給(電源はベース基板のF1及びF2より供給)
CN6	シリアルデータ信号
CN7	カメラへの電源供給 DC12V 最大800mA

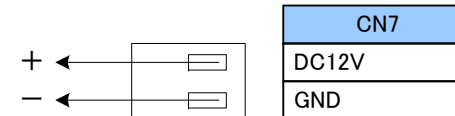
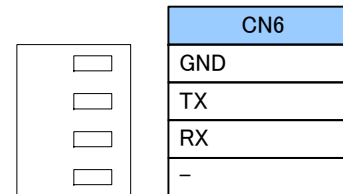
接続可能なカメラとレンズ	
カメラ 使用電源・電流	DC12V 最大 800mA 以下
電位差ズームレンズ	+5V
電動ズームレンズ	6-15V(調整可) 最大 200mA(Focus+Zoom+Iris)



\*ユニットに電源を入れる前に、ポテンションメータ(トリマー①)を反時計回りにいっぱいまで回し電圧を最小にしてください。  
電源投入後、キャリブレーションをとります。  
電圧を確認するためには、lens+②とlens-③で測ります。  
測定した電圧が適正でない場合は、トリマー①で調整してください。



\*C1 と O1 が閉じると、一定時間ワイパーが作動します。  
作動時間は、OSD メニューで設定します。



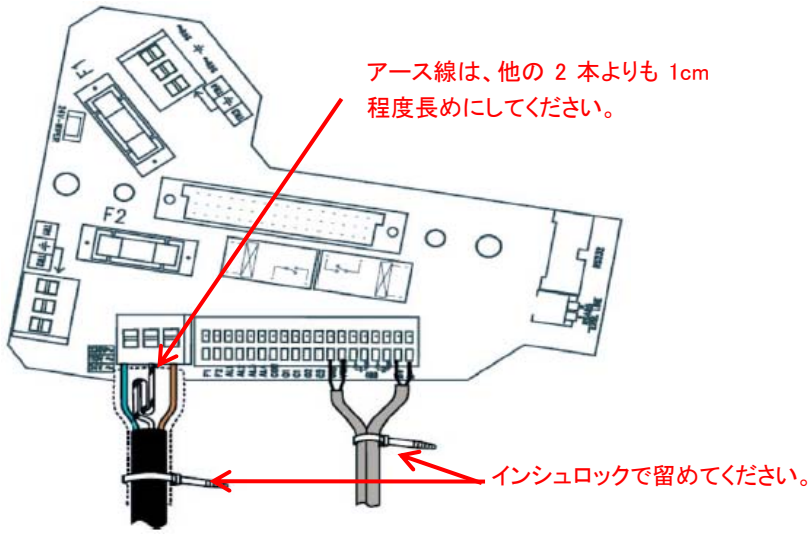
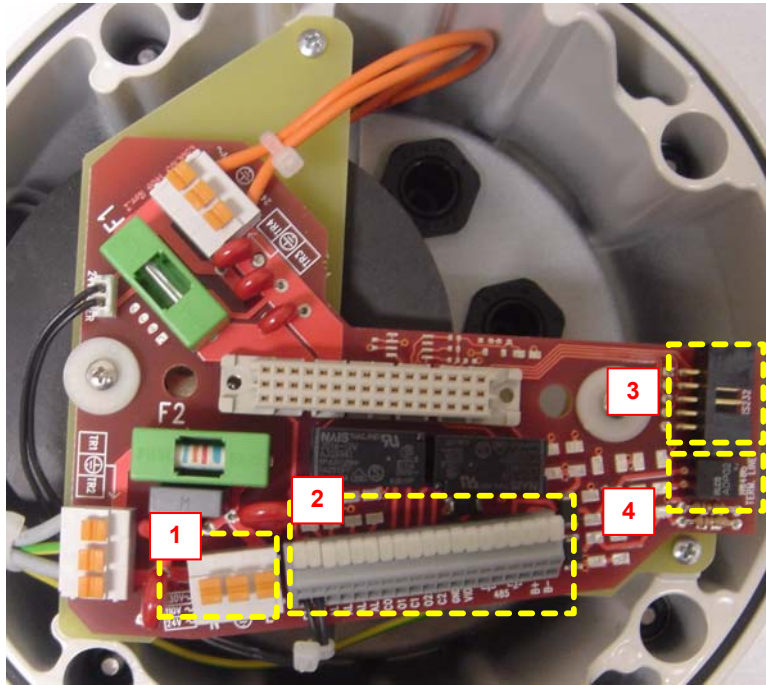
6-2 電源供給ベースのケーブル結線

次ページの図に従って、ケーブルを結線します。

**※発火を防ぐため、ケーブルは、AWG26 以上をご使用ください。**

- 接続の前に、ベースに電源ケーブルが接続されておらず、ブレーカ回路がオープンになっていることを常に確認してください。
- 設置の前に、必ず、ユニット本体と接続する AC 電源の電圧・電流仕様が合っているか確認してください。
- 使用電圧、システムが必要とする電流量から、接続するケーブルの仕様が適正か確認してください。

- アース線は、他の 2 線よりも 1cm 以上長めにしてください。ケーブルが引っ張られた際に、電源ケーブル自体が抜けないようにするためです。ケーブルは、必ずシリコンシースで保護されているものをお使いください。結線後、適正な位置で、各ケーブルをインシュロックでまとめてください。



電源 AC24V      ビデオ 制御 RS485

1. 入力電源 AC24V		ケーブル色
N	Neutral	(任意)
GND	Earth	(任意)
L	Phase	黄/緑

2. ターミナルブロック		
F1	ワイパーへの電源	
F2	AC24V	
AL1	アラーム入力 DC10~35V	
AL2		
AL3		
AL4		
COM	リレー出力 最大50V 1A	
O1		
O2		
C2	同軸 アース:外皮	
GND		
VIDEO	同軸 芯線	
A	RS485 - 1	
B		
A	RS485 - 2	
B		
B +	ツイストペア伝送 (オプション)	
B -		

映像信号の端子 (GND、VIDEO) に接続するケーブルは、AWG20(0.5mm<sup>2</sup>) ~ AWG28(0.08mm<sup>2</sup>) のケーブルをご使用ください。  
\*推奨 AWG26 以上

3. RS232 プロトコル固定	
MACRO	38400 (伝送距離 20mまで)

※接続には、付属のコネクタを使用

4. RS485 終端設定		
2	RS485 - 2	UP: 終端なし DOWN: 終端あり
1	RS485 - 1	UP: 終端なし DOWN: 終端あり

\*プロトコル、ボーレート、RS485 終端設定は、ベースの DIP/SW9,10 で設定します。



ベースの基板のフューズは以下の2種類です。

ヒューズ	
F1	T4A L 250V 5x20mm
F2	T 6.3A H 250V 5x20mm

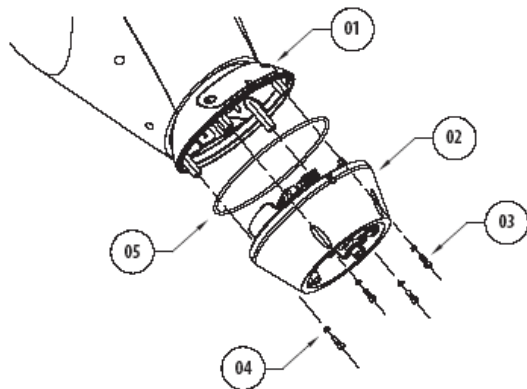
6-3 トップ本体と電源供給ベースの固定



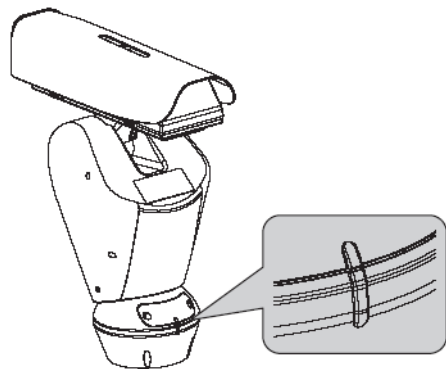
ネジ締めはキャリプレートトルクレンチ 2.1Nmで行ってください。



本体の下部を包んでいる袋の中に、基板を湿気から保護するために乾燥剤が入っています。ベースを取り付ける際には、その乾燥剤を取り除いてください。



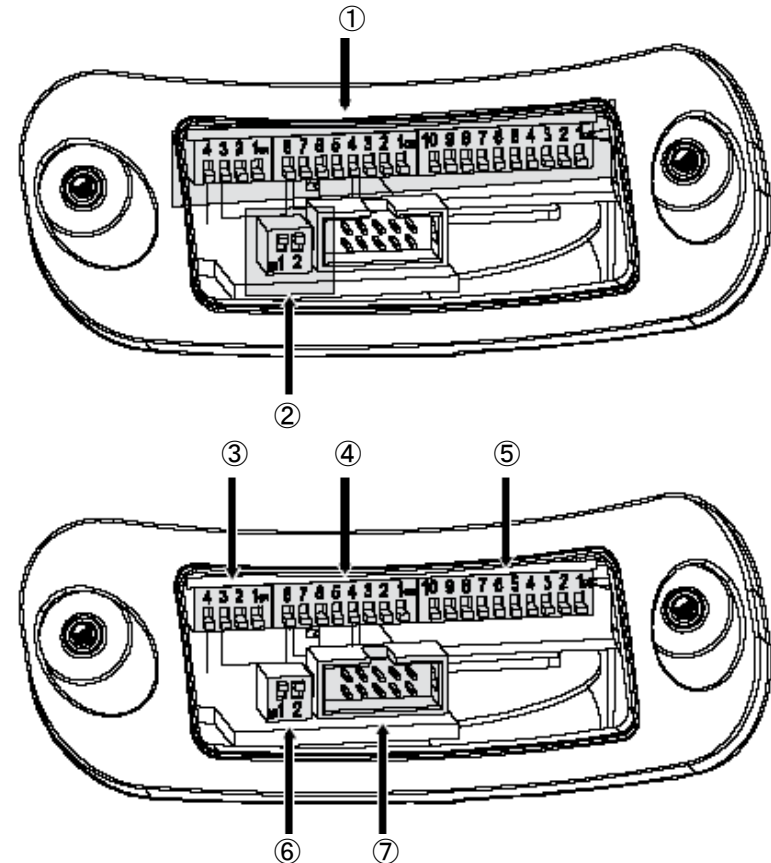
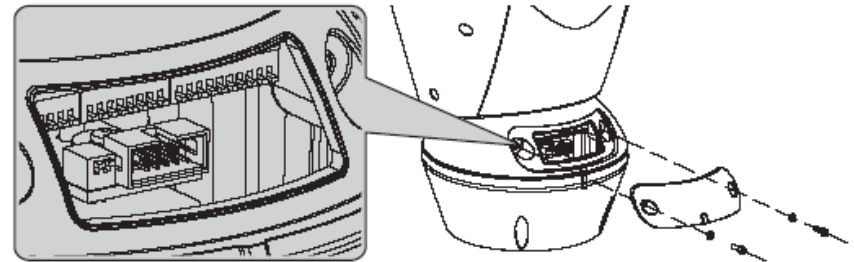
本体(01)とベース(02)を付属のネジ(03)とワッシャー(04)を使用して固定します。その際、ベースのシーリング(05)を必ず、適正な位置に合わせてください。



トップとベースをアンカーで固定する方法は、1つしかありません。図のように、トップとベースのタブを正確に合わせてください。

6-4 DIP/SW 定義

デバイスに電源を入れる前に、トップ下部にあるDIP/SWでID等を正しく定義します。図のように、ネジを外し、蓋を開けてください。



DIPスイッチ定義	
①	上: ON=1、下: OFF=0
②	上: OFF=0、下: ON=1
③	BAUDRATE (ボーレート)
④	PROTOCOL (プロトコル)
⑤	1~8: アドレス
	9,10: シリアルデータライン
⑥	RS485終端設定
⑦	RS232接続端子

③ボーレート

BAUD RATE					
DESCRIPTION	DIP 4	DIP 3	DIP 2	DIP 1	CONFIGURATION
Baud-rate adjustment	OFF	OFF	OFF		300 baud
	ON	OFF	OFF		600 baud
	OFF	ON	OFF		1200 baud
	ON	ON	OFF		2400 baud
	OFF	OFF	ON		4800 baud
	ON	OFF	ON		9600 baud
	OFF	ON	ON		19200 baud
	ON	ON	ON		38400 baud
Firmware update				ON	Set up enabled
				OFF	Set up disabled

④プロトコル

PROTOCOL										
DIP 8	DIP 7	DIP 6	DIP 5	DIP 4	DIP 3	DIP 2	DIP 1	PROTOCOL	BAUD-RATE	PARAMETERS CHANGING (OSM)
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	MACRO (VIDEOTEC)	300..3840 0 (8N 1)	Specific control (Men+) Verify in control device
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	PELCO D	300..3840 0 (8N 1)	OFF
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	SENSORMATIC	300..3840 0 (8N 1)	OFF
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	VISTA	300..3840 0 (8N 1)	OFF

⑤ 1~8 アドレス

255 個のアドレスを設定可能です。

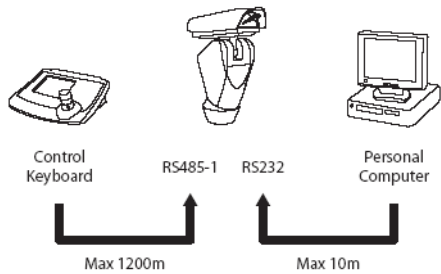
SERIAL AND ADDRESS - ADDRESS CONFIGURATION										
DIP 10	DIP 9	DIP 8	DIP 7	DIP 6	DIP 5	DIP 4	DIP 3	DIP 2	DIP 1	CONFIGURATION
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address not enabled
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	Address 1
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Address 2
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	Address 3
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 4
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	Address 5
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	Address 6
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	Address 7
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 8
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	Address 9
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	Address 10
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	Address 11
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	Address 12
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	Address 13
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	Address 14
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	Address 15
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 16
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	Address 17
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	Address 18
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	Address 19
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	Address 20
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	Address 21
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	Address 22
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	Address 23
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	Address 24
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	Address 25
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	Address 26
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	Address 27
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	Address 28
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	Address 29
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	Address 30
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	Address 31
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 32
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	Address 33
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Address 34
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	Address 35
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Address 36
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	Address 37
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	Address 38
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	Address 39
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Address 40
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	Address 41
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	Address 42
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	Address 43
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	Address 44
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	Address 45
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	Address 46
		OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	Address 47
		OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Address 48
		OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	Address 49
		OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	Address 50

\*ID 番号 51 以上の設定は、英文マニュアルを参照ください。

6-4-5 シリアルデータライン (DIP/SW ⑤9-10)

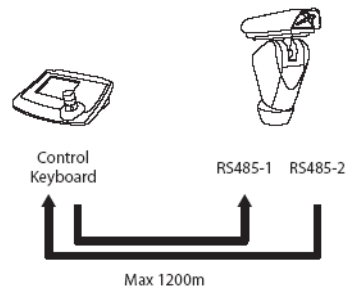
SERIAL AND ADDRESS, SERIAL LINE CONFIGURATION		
DIP 10	DIP 9	Configuration
OFF	OFF	It allows the device control through two different serial lines ( <b>6.4.5.1 RS485 line and RS232 line</b> ).
OFF	ON	It allows the full-duplex communication according to RS422 standard ( <b>6.4.5.2 RS422 connection (RS485-1 RX and RS485-2 TX)</b> ).
ON	OFF	It allows the cascade configuration of different devices. The signal is repeated from every units ( <b>6.4.5.3 Line 1 RS485 and line 2 RS485 repetition</b> ).
ON	ON	It allows the two-ways, half-duplex, communication on RS485-1 line ( <b>6.4.5.4 RS485 TX/RX connection</b> ).

6-4-5-1



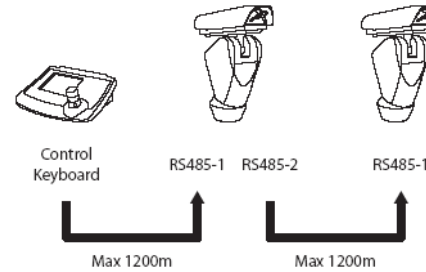
TNV-1 タイプに該当。SELV 回路では不可。

6-4-5-2



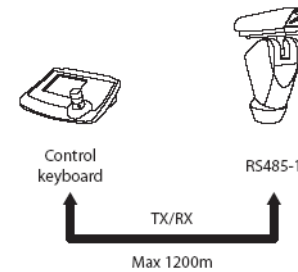
双方向通信 (PELCO, SENSORMATIC, Macro 等) にのみ有効。

6-4-5-3



片方向通信にのみ有効。

6-4-5-4



双方向通信 (PELCO, SENSORMATIC, Macro 等) にのみ有効。

6-4-6 RS485 終端設定 (DIP/SW⑥)

TERMINATION OF RS485 LINES			
DESCRIPTION	DIP 2	DIP 1	CONFIGURATION
Line RS485-1		ON	Terminated
		OFF	Not terminated
Line RS485-2	ON		Terminated
	OFF		Not terminated

## 7. 電源を入れる

電源コードを AC24V 電源に接続すると、ULISSE に電源が入ります。

- i** 内蔵ヒーターの回路は、電源を入れた際、環境温度が 0°C の場合にスタートします。このプロセスは、低い温度で本体が正しく確実に作動するためです。モデルにより、60 分～105 分ヒーターは ON のままです。

### 7-1 本体に電源を入れる前に

- ⚠** 本体のカバーがしっかりと閉じられ、他の部品等と何も接触がないことを確認してください。
- ⚠** 電源を入れる際には、離れてください。本体を作動させる前は、電源を抜いておいてください。
- ⚠** 全ての部品がしっかりと安全に締められていることを確認してください。

初めて電源を入れる際には、全ての設定が正しく行われていることを確認してください。

そのためには、電源を抜き、DIP/SW の蓋を開け、ファームウェアアップデートの DIP/SW (ポーレートの DIP 番号 1) を ON に設定します (上にします)。

電源を入れ、数秒すると、画面で設定を確認できます。

設定確認後、本体の電源を切り、ファームウェアアップデートの DIP/SW を OFF にします (下にします)。

蓋を閉め、改めて電源を接続してください。

## 8. OSM (On Screen Menu) 操作

### 8-1 OSD メニュー

ULISSE の通常動作時は、OSM を使用できます。

OSM では、高度な設定が可能です。操作する場合は、接続されているコントローラのマニュアルと併せて参照ください。

#### 8-1-1 ジョイスティック操作

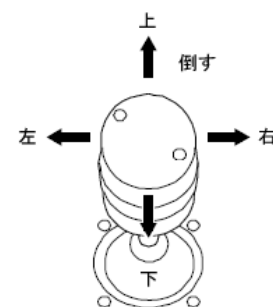
メニュー操作は、ジョイスティックで行います。

上下左右に動かすと、カーソル「>」が移動します。

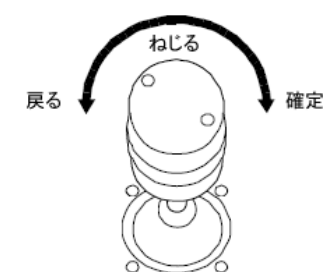
確定する場合や、サブメニューに入る場合は、ジョイスティックを右にねじります。

前の画面に戻る場合は、ジョイスティックを左にねじってください。

パン及びチルト操作



ズームワイド・テレ操作



### 8-2 メニュー間の移動

「>」がカーソルです。カーソルを上下に動かし、設定したいメニュー項目へ移動させます。

※メニュー項目の右端に、「>」がある場合は、サブメニューがあることを示しています。

### 8-3 設定の変更

カーソルを合わせると、変更可能な項目が点滅します。ジョイスティックを上下に動かすと、他の選択肢が表示されます。

変更する選択肢が表示されたら、確定します。

確定されると、点滅が止まります。

### 8-4 設定数値の変更

カーソルを変更した項目にあわせると、点滅が始まります。

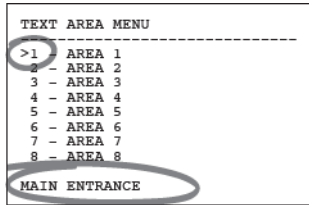
※編集可能な項目は点滅します。

ジョイスティックを上下に動かすと、他の選択肢が表示されます。

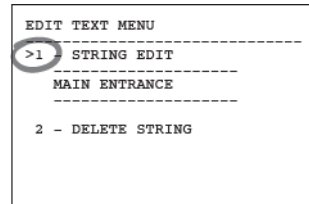
同じ項目の行に、別の「>」が表示され点滅している場合は、その数値を設定する必要があります。ジョイスティックを左右に動かし、フィールドに移動後、同様に数値を設定してください。

8-5 テキストの変更

1. 編集したい項目まで、カーソルを移動します。



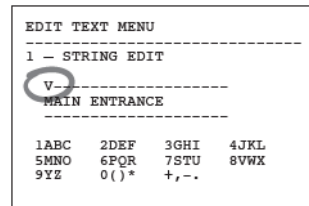
2. 編集画面が表示されます。「1」の編集を選択します。



>1 文字列を編集

2 文字列を削除

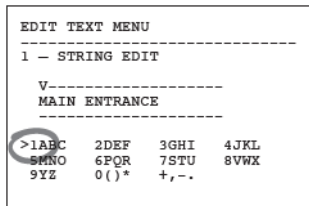
3. 文字を入力します。



>1 文字列を編集

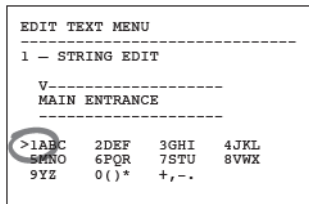
カーソルがある位置の文字は点滅します。  
ジョイスティックを左右に動かし、下の文字のグループから任意のアルファベットを選択し、確定します。

4. アルファベットを選択します。



任意の文字のグループにカーソルを移動後、ジョイスティックを上下に動し、そのグループの中の文字から入力したい文字を選択します。

5. 入力を繰り返します。

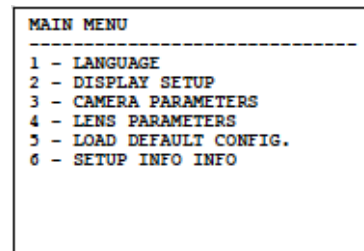


同様の操作を繰り返し、文字列を入力します。

操作を中止する場合は、ESC を押してください。

8-6 システム設定

8-6-1 メインメニュー



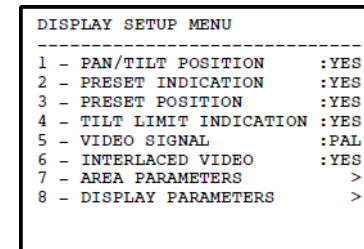
1. 言語
2. ディスプレイ設定
3. カメラパラメータ
4. レンズパラメータ
5. デフォルト設定
6. 設定情報参照

8-6-2 言語

メニューに使用する言語は、イタリア語、英語、フランス語、ドイツ語の 4 つから任意の言語を選択します。

8-6-3 画面管理

画面上に下記の情報を常時表示するかどうかを設定します。

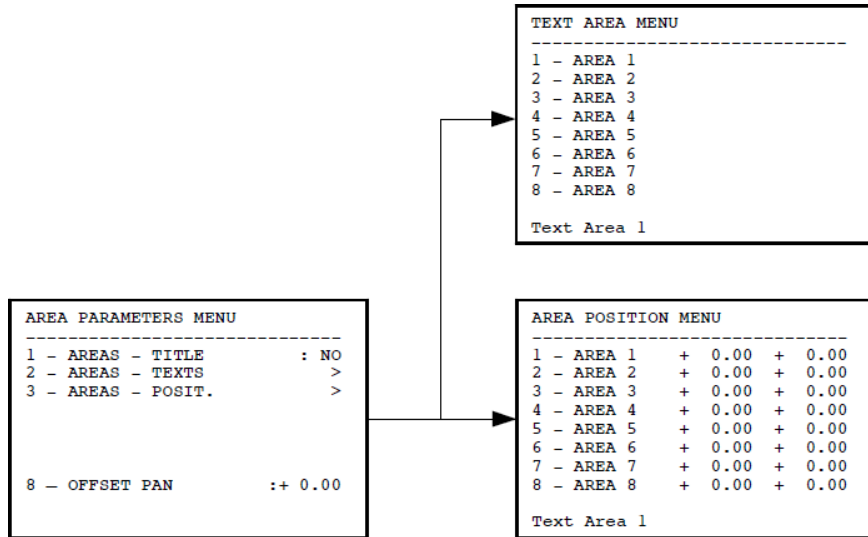


1. パンチルト位置:オリジナル位置を基準として現在の角度を表示します
2. プリセット表示:プリセット位置に入力したテキストが表示されます
3. プリセット位置:プリセット番号を表示します
4. チルトリミット表示:チルトリミット地点に到達すると表示されます
5. ビデオ信号タイプ:選択された信号タイプ(PAL/NTSC)が表示されます
6. ビデオインターレース
7. エリアパラメータ:任意のエリアにタイトルを入力できます
8. ディスプレイパラメータ

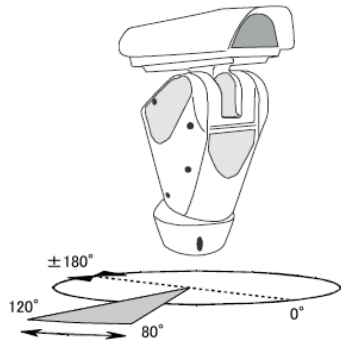
\*「>」のある項目は、詳細設定が可能です。  
ジョイスティックを右に回し、メニューに入ります。

8-6-3-1 エリアタイトル管理

水平方向の任意のエリアに対して、テキストを入力することができます。



1. エリアタイトル表示/非表示:NO(デフォルト)表示する場合は、YES に変更します
2. エリアテキスト:8 タイトルまで設定できます
3. エリア位置:各エリアタイトルについて、スタート地点とエンド地点を登録します



例)  
80° ~120° の位置を撮影した時に、任意のエリアタイトルを表示する場合

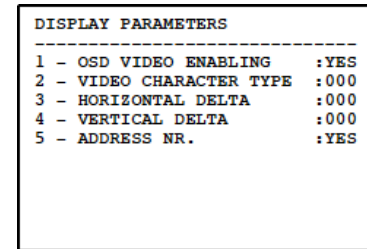
- 1.で、タイトルを表示(YES)に設定
- 2.で、AREA 1 を選択
- 3.で、スタート地点とエンド地点の角度を指定します

- \*スタートとエンド地点を共に 0° に設定した場合、テキストは表示されません。
- \*角度が重なったエリアがある場合、タイトル表示は数字が小さい方が優先されます。

オフセットポジションは通常0設定ですが、任意の水平位置をオフセットポジションに設定することもできます。例えば+45度をオフセットポジションにした場合、+45度を0度として左右回転角を表示または指定することができます。

8-6-3-2 ディスプレイパラメータ

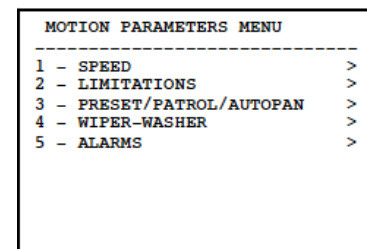
画面や、スーパーインポーズの設定(文字色や背景色)などビデオ表示に関する設定を行います。



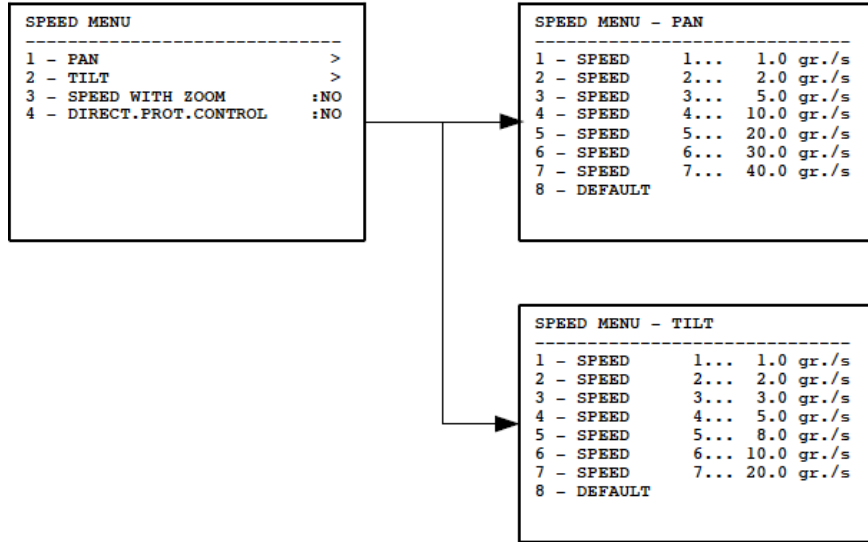
1. OSD (On Screen Display)ビデオ表示: YES  
Sに設定すると、スーパーインポーズモードです。  
メニューが画面全体に表示され、カメラ画像は背景として表示されます。
2. ビデオキャラクタータイプ  
0=文字の背景は、透明でカメラ画像の上に文字は重なります。  
1=文字の背景は、黒です。(背景が白っぽく文字を読みにくい際有効)
3. 水平デルタ / 4. 垂直デルタ  
テキスト表示位置を任意の位置に設定できます。
5. アドレス番号: YES  
本体の ID 番号が画面左上に表示されます。  
(ID を非表示にする場合は、NO に変更します)

8-6-3-3 カメラパラメータ

本体の動きに関する設定を行います。



8-6-3-4 スピード



上記メニュー項目の3と4はカメラモジュールを工場組み込んだモデルについてのメニューです。本マニュアルでは、無効です。



赤外線 LED ライトを装着したモデルのスピードは、標準仕様の最速スピードよりも低い数値となります。

	パン(最大)	チルト(最大)	パトロール/ プリセット最速	ランプ
標準モデル	100	40	100	12
赤外線 LED 装着モデル	40	30	40	3

スピードメニューは、各機能を設定後もコントローラから設定可能です。

単位は、° /秒です。表示数値範囲は、0.1~100° /秒です。

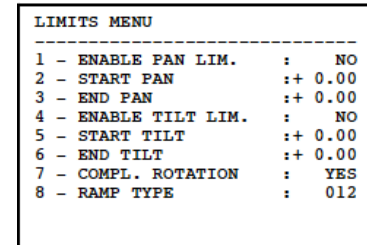
PELCO 及び SENSORMATIC プロトコルによる操作では、パン及びチルトのパラメータを直接設定でき、デフォルト設定の7段階以上の設定が可能です。その場合、図のスピードメニュー中の1. パン、2. チルトの設定は無効となります。

従って、操作プロトコルにより、最大・最小のスピードは、異なってきます。

\*PELCO プロトコルでは、0~40° /秒の間で64種のスピード設定が可能です。

8-6-3-5 リミット(制限)設定

本製品の動きに制限をかけることができます。



1. パンリミット設定:NO(制限なし)/YES(制限あり)
2. パンスタート地点:パンの開始地点を設定します
3. パンエンド地点:パンの終了地点を設定します
4. チルトリミット設定:NO(制限なし)/YES(制限あり)
5. チルトスタート地点:パンの開始地点を設定します
6. チルトエンド地点:パンの終了地点を設定します
7. 360度エンドレス回転:YES(回転する)

※スキャン、オートパン、パトロール機能使用時、赤外線 LED ライトなど外部ケーブルを付帯する装置を搭載している場合に、本設定で、本体がエンドレスで回転し付帯装置を損傷しないように制限をかけることができます。

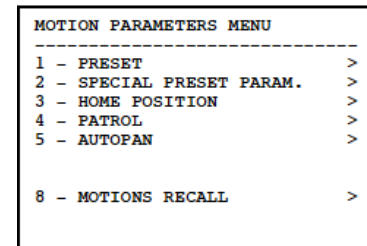
※パンの設定数値は-180° ~+180° で、チルトは-40° ~+90° の範囲です。なお、エンドレス回転が有効の場合、スキャン、オートパン、パトロール作動中は、本体は最短のルートで動作します。

8. ランプタイプ

本パンチルトユニットをスタートとストップにかかる時間を設定できます。数値が大きいほど、スタートとストップの間の加速/減速が強くなります。

8-6-3-6 動作パラメータ(プリセット、パトロール、オートパン)

プリセット、パトロール、オートパンに関する動きのパラメータを設定します。



## 8-6-3-7 プリセット

登録済みのプリセット位置に関するすべてのパラメータを変更できます。

PRESET EDIT MENU	
PRST PAN	: + 0.0
01 TILT	: + 0.0
ENABLE	: NO
ZOOM	: 00000
FOCUS	: 00000
IRIS	: 00000
SPEED	: 020,0
DWELL	: 00005
TXT	: PRESET 001

- パン・チルト:角度を数値で正確に設定できます
  - プリセット設定:NO(無効)、YES(有効)
  - ズーム・フォーカス・アイリス:レンズに関する設定が可能です
- ※工場組み込みレンズの場合のみ
- スピード:020.0(秒速 20° ):パトロール機能でこのプリセットに到達する際のスピードを設定します
  - 動作間隔:パトロール及びオートパン作動時の動作の間隔時間(秒)
  - テキスト:プリセット位置に到達した際に表示されるテキスト

このメニュー画面では、「アイスクローズ」キーで設定確定後、サブメニューに入ること、設定数値はそのまま保存されます。

## 8-6-3-8 OSM(On Screen Menu)上のプリセット

すでに登録されているプリセットを再読み込み、もしくは、実際どこに設定されているのかをメニューに表示させることができます。

PRESET EDIT MENU - OSM	
1 - CHANGE PRESET	001
2 - RECALL PRESET	

任意の位置に、パン・チルトを動かし、ズーム・フォーカスを調整後、アイリスオープンキーで確定します。「アイリスオープン」キーで設定を確定します。

\*この際、「アイスクローズ」・「アイリスオープン」キーはレンズのアイリスには関係しません。

## 8-6-3-9 スペシャルプリセットパラメータ

SPECIAL PRESET PARAM. MENU	
1 - PRESET SPEED REF.	: 20.0
2 - SCAN SPEED	: 20.0
3 - REDUCE TILT SPEED	: 100
6 - PRESET DWELL TIME	:00005
7 - FORCE PRST DWELL T.	: NO
8 - FORCE PRST SPEED.	: NO

1. プリセットスピード参照:20.0  
プリセットの登録時期に関わらず、デフォルトの値です
2. スキャンスピード:20.0  
プリセット位置がスキャン機能で呼び出された際のスピードの値です
3. チルトスピードの減速:  
パンの速度を100%とした際にチルトのスピードを減速できます
6. プリセット間隔時間:00005(5秒)  
新しいプリセット位置の登録時期に関わらず、デフォルトの値です
7. プリセット間隔時間一括設定:NO  
YES:すべてのプリセットの間隔時間を現在設定している時間(6.プリセット間隔時間)で一括設定
8. プリセットスピード一括設定:NO  
YES:すべてのプリセットのスピードを現在設定しているスピード(1.プリセットスピード参照)で一括設定

## 8-6-3-10 ホーム設定

MENU HOME	
1 - HOME POSITION	:00001
2 - REACHED SPEED	: 20.0

1. ホームポジション:ホーム位置を設定します  
「HOME」キーを押すと、ULISSE はホームポジションに戻ります  
(例:プリセット 1)
2. 到達スピード:20.0(秒速 20° )  
ホームへ戻る際のスピードです



8-6-3-11 パトロール(プリセット巡回動作)

PATROL MENU	
1 - START POSITION	:00001
2 - END POSITION	:00250
3 - FIRST PRST SPEED	: 20.0
4 - RANDOM	: NO

1. スタートポジション:00001 パトロールの開始プリセット番号
2. エンドポジション:00250 パトロールの終了プリセット番号
3. 最初のプリセットスピード:20.0(秒速 20° )  
パトロール機能を開始した際に、最初のプリセット番号位置に到達する際のスピード
4. ランダム:NO  
YES:プリセット番号に関係なく、ランダムに巡回します

8-6-3-12 オートパン

水平の2地点間の首振り動作を設定します

AUTOPAN MENU	
1 - START POSITION	:00002
2 - END POSITION	:00001
3 - REACH SPEED	: 10.0
4 - FORWARD SPEED	: 10.0
5 - REVERSE SPEED	: 20.0

1. スタートポジション:00002
2. エンドポジション:00001
3. 到達スピード:10.0(秒速 10° )
4. フォワード(往路)スピード:10.0(秒速 10° )
5. リバース(復路)スピード:20.0(秒速 20° )

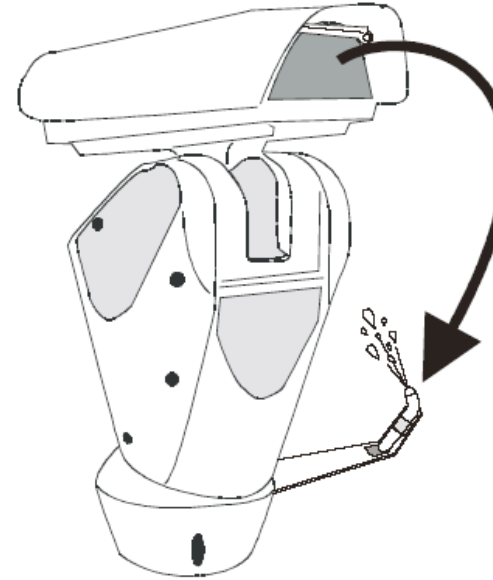
8-6-3-13 自動復旧動作

一定時間何も操作されない場合、オペレーターによって設定された動作へ自動で復旧する機能です。

MOTIONS RECALL MENU	
1 - TIME ENABLING	: NO
2 - MOTION TYPE	: HOME
3 - DWELL BEFORE ACT	:00050

1. 時間設定:NO(自動復旧なし)  
YES:自動復旧有効
2. 動作タイプ:HOME  
ホームポジションに戻ります  
ホーム、オートパン、パトロールの中から選択します。
3. 復旧までの時間:00050(50 秒)  
50 秒間、アイドル状態が続くと、自動復旧します

8-6-4 ワイパー及びウォッシャー設定



左図の通り、ガラスを洗う噴水スプレーはパンチルトユニットの外側についています。  
前面ガラスを洗うには、ハウジング前面がスプレーの正面に向かい、ガラスを洗う水が噴射され、ワイパーが動作します。

従って、プリセット位置をスプレーの位置に合わす必要があります。ワイパー機能が作動すると、この位置が呼び出されます。

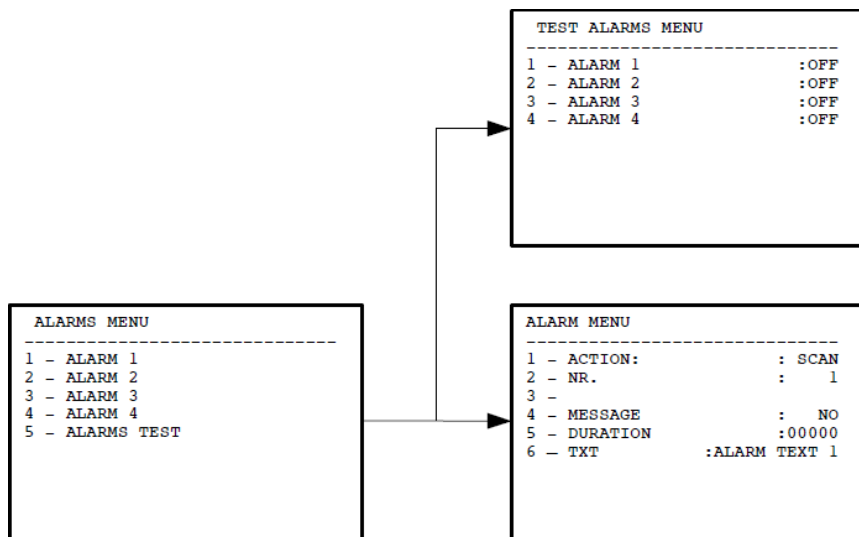
レベルセンサー付のウォッシャータンクを装備している ULISSE は、タンクの水位が低くなると、画面上にメッセージを表示させることもできます。

WIPER-WASHER MENU	
1 - ENABLED	: NO
2 - PRESET POSITION	:0001
3 - RELAYS NR.	:0001
4 - PUMP DELAY	:0003
5 - WIPER DURATION	:0005
6 - DELAY WIPER	:0002

1. 設定:NO(無効)
2. プリセットポジション:0001
3. リレー番号:0001  
ウォーターポンプを制御するリレー番号を設定します
4. ポンプ遅延時間:0003  
PUMP キーを押してからワイパーが動作するまでの時間を設定します
5. ワイパー時間:0005  
ワイパーの作動時間を設定します
6. ワイパー遅延時間:0002  
ワイパーが水なしで作動する時間を設定します

8-6-5 アラーム

アラーム系統の設定を MENU 画面で行います。



1. アラームは「スキャン、パトロール、オートパン」などのアクションに有効です。
2. スキャンポジションは、指定位置と駆動リレーを関連づけて指定します。
3. アラーム内容を表示することができます。
4. アラームメッセージの表示で 0 はアラーム期間が完結した時の表示です。
5. テキストはアラーム発報回数を表示します。

8-6-6 初期化

工場出荷時の状態に戻します。

```

    DEFAULT VALUES MENU
    -----
    1 - LOAD DEF. VALUES? :NO
    2 - DELETE PRESET VALUES? :NO

    ATTENTION!!!
    RELOAD ALL DEFAULT VALUES
    EXCEPT PRESET VALUES
  
```

1. デフォルト値ロード:NO  
YES:プリセット値以外の全メニューの初期値が呼び出されます
2. プリセット値削除:NO  
YES:登録されている全プリセット値を削除します。



これらの操作は、プリセット、パトロール、オートパン、ホーム等、全ての設定データを削除します。

8-6-6-1 設定情報参照

本ユニットのハードウェア・ソフトウェアのバージョン情報を参照できます

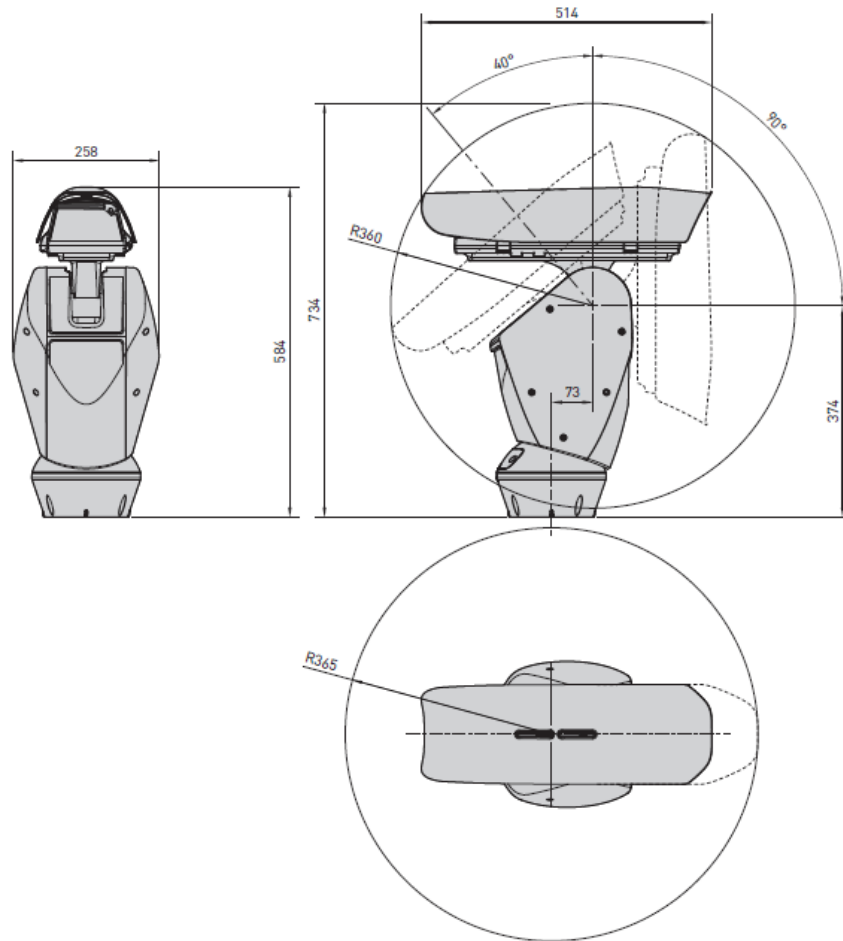
```

    SETUP INFO MENU
    -----
    NET board : MPP board:
    ver. 1.3 ver. 1.3
    Nov 04 2005 Nov 04 2005

    Protocol : MACRO
    Baudrate : 38400
    Address : 00001
    Enabled RS485 TX-RX
  
```

# TPS-P07S/TPS-P07SW

## 製品寸法



## 製品仕様

画像圧縮方式	MPEG4
画像解像度	D1(720*576)/VGA(640*480)/CIF(352*288)/QCIF(176*144)
伝送フレームレート	30FPS@D1(1秒30枚)
WEBサーバ	内蔵
耐荷重	20kg
重量	17.3kg
外形寸法	外形図参照
材質	ダイキャストアルミニウム及びABS樹脂
色	RAL9002 エポキシポリエステルパウダー塗装
防水防塵保護等級	IP66 EN60529
水平方向	エンドレス ※但し、赤外線ライト装着時は制限あり
パンスピード	0.1° ~100° /秒
垂直方向	-90~40°
チルトスピード	0.1° ~40° /秒
水平トルク	ダイナミック/スタティックトルク: 20Nm
垂直トルク	ダイナミック/スタティックトルク: 20Nm
バックラッシュ	0
マウント位置	トップマウント
プリセット数	250プリセット
プロトコル	Marco、PelcoD、Sensormatic
その他	スリッピング、電子リミットシャッター
使用電源/消費電力	AC24V 120W
ヒーター	サーモスタットヒーター AC24V 20W
電源供給	カメラへ: AC24V 1A/DC12V 800mA、レンズへ: DC6-15V 200mA
使用環境	屋内・屋外用
使用環境温度	-20°C~50°C
適合規格	CE EN60950、EN61000-3-2、EN50130-4/FCC part15
オプション	メモリボード(停電対策/設定バックアップ用)、ワイパー(AC24V 7W)

以上